



くすのき

令和元年12月23日



いよいよ明日から14日間の冬休みが始まります。みなさんにとってこの一年は、どんな年でしたか。

今年の一年を表す「漢字」が、12月12日に、日本漢字能力検定協会より発表され、左記にもあります「令」に決まりました。この「令」が選ばれた理由の一つとして、「新たな時代の希望を感じた一年」であったからだそうです。昨年同様、大きな災害もありましたが、5月に年号が「平成」から「令和」に代わり、多くの人たちが、期待や希望を抱いた一年だったのではないのでしょうか。それでは、よい年を迎え、よい冬休みを過ごしてください。

人権週間に向けて 12月9日(月): 朝会での校長講話

毎年、12月4日～10日までは、日本中が人権週間です。また、12月10日は「世界人権デー」で、世界で人権に関するいろいろな取組がされます。人権というのは人の権利、分かりやすく言うと、誰もが人として大切にされ、幸せに生きることを邪魔されないということです。

世の中には、男もいるし女もいる。子どももお年寄りもいる。いろいろな国の人たちがいる。大井小学校のみんなも、顔も体つきも違う。性格も違う。いろいろな考え方の人がいます。自分と違っていても、相手を認め、一人一人を大切にすることが人権を守ることなのです。

誰かにいやなことをされたり、言われたりすることは、人権を奪われているということなのです。そこで、今日は、その人権を守るために、「たくさんうれくなる言葉」という作文を紹介します。この作文は、福島県の小学5年生が書いた作文です。

「たくさんうれくなる言葉」

自分が言われたらうれしい言葉って、何だろう。どんな言葉があるのかな。ぼくは、改めて考えてみました。

まず浮かんだのは、「ありがとう」です。感謝の気持ちを伝える言葉「ありがとう」は、一番人をうれしくする言葉かもしれません。

次に、「一緒に遊ぼう」が浮かびました。一人でいる時に言われたら、とてもうれしくなる一言だと思います。それに、一人ぼっちでいる友だちに、「一緒に遊ぼう。」と声をかけるには、少し勇気があるけれど、相手が「うん。」と答えてくれたら、うれしくなります。言ってよかったなと思える一言だと思います。

三つ目は、「おはよう」です。「おはよう！」と元気よく声をかければ、言われた方も明るい気持ちになり、元気に「おはよう！」と返したくなると思います。お互いに気持ちのよい朝を迎えられます。「おはよう」は、人と人をつなげます。

四つ目は、「がんばれ」です。自分が、がんばっている時、緊張している時に、「がんばれ！」と声をかけられたら、とてもやる気が出ます。力がわいてきます。「がんばれ！」は、一言で人のやる気を引き出す、すごい言葉です。

五つ目は、「大丈夫」です。落ち込んでいる時や不安な時に、「大丈夫。」と声をかけられたら、元気が出ます。国語の教科書に「だいじょうぶ、だいじょうぶ」という物語がのっています。おじいちゃんが男の子を、この言葉で励ましてあげるといってお話です。ぼくも、このおじいちゃんのように、周りの人を励ましてあげたいと思います。

「言われてうれくなる言葉」は、まだまだたくさんあります。思ったよりたくさんあって、ぼくもびっくりしました。どの言葉もその一言で、相手の気持ちを明るくしてくれます。そして、言った本人もあたたかい気持ちになれる言葉ばかりです。なんだかいいことづくしです。「言われてうれくなる言葉」をぼくは、もっと使っていきたいです。

薬物乱用防止教室（6年生）12月13日（金）

12月13日（金）の5・6時間目に、6年生を対象として薬物乱用防止教室が行われました。講師に、半田警察署より2名の方に来ていただき、お話を聞いたり、「危険な薬物クイズ」をやったり、薬物乱用に自分が誘われた時の対応について、グループワークを行ったりしました。さらに、6時間目は、DVDを視聴した後、広報車を見学し、実際の薬物のサンプルや、健常者と薬物常習者との臓器や外形を比較した写真等を見ました。6年生の感想の中には、「薬物は一回使うだけでやめられなくなるから、もし、だれかに誘われたらちゃんと無視したい。他の人がやっていたら止めてあげたい」等が書かれていました。



「ミニ・ピアノコンサート」（3～6年生）12月13日（金）・17日（火）

12月13日（金）、17日（火）の音楽の授業で、本校で音楽担当している鳥居明美先生が、3～6年生を対象に、「ミニ・ピアノコンサート」を行いました。みなさんもよくご存じのベートーベン作曲「エリーゼのために」他4曲を演奏していただきました。曲の合間には、曲に込められた想いや作曲家の生い立ちなども交えながら演奏していただき、あっという間の45分間でした。鳥居先生、本当に素敵な時間をありがとうございました。



チューリップ植え（1年生）12月18日（水）



12月18日（水）の2時間目に、大井保育園の園児7名が来校し、1年生の児童とともに、本館前の花壇に、チューリップの球根を植えました。来年度、入学予定の7名の園児は、慣れない手つきで、1年生のお兄さんやお姉さんの手を借りながら、楽しそうに球根を植えていました。園児の手助けをする1年生の姿は、いつもの学校生活とはちがひ、とても頼もしく見えました。来年、入学する7名の園児とともに、チューリップがきれいに咲き誇る4月が今から楽しみです。

豆腐作り体験（3年生）12月18日（水）



12月18日（水）の5・6時間目に、JAあいち知多女性部より4名の講師の方をお迎えして、3年生が「豆腐作り体験」を行いました。事前に大豆を水につけておき、大豆とつけ水を2回に分けてミキサーにかけます。次に、深鍋に、用意しておいた水と生呉（大豆とつけ水をミキサーにかけたもの）を入れ、焦げないようにかき混ぜ、沸騰したら一度火を消します。そして、改めて火をつけ、弱火で8分煮ます。そこで出た煮汁を熱いうちに布袋に入れ、固く絞ります。そうすると、しぼった汁は豆乳に、絞った袋の中身は、オカラが出来上がります。絞った豆乳を弱火にかけ、鍋底をかき混ぜながら70～80度に温め、火を止めます。そして、すぐににがり液を少しずつ垂らし、ゆっくりと軽く混ぜます。固まるまで蓋をして15分間おき、固まった豆腐は流し箱にいれ、押しふたをして水を切り、10分くらいたったら、水の中で型と布を取り、豆腐を20分位水にさらして、出来上がりです。出来上がったオカラはサラダにして、豆腐は醤油をつけて、おいしくいただきました。

